

**アジア政経学会 2025 年度第 5 回アジア政経学会理事会
議事録**

【日時】：2025 年 9 月 20 日（土）13:00~14:45

【会場】：オンライン（Zoom ミーティング）

【議長】：川島理事長

【理事・監事総数】：理事 24 名、監事 2 名

【出席者 20 名】：青木、阿古、家永、石塚、磯崎、大庭、梶谷、加茂、川上、川島、日下、
倉田、杉浦、鈴木絢女、鈴木隆、中西、福田、増原、三重野（敬称略、以上理事）、中岡（敬称略、以上監事）

【欠席者 6 名】：林、小嶋、助川、中溝、本名（敬称略、以上理事）、遠藤（敬称略、以上監事）

【オブザーバー 1 名】：劉建輝（敬称略、2025 年度秋季大会実行委員会委員長）

川島理事長が議長席につき、13 時 00 分に開会を宣言した。併せて、倉田理事が出席理事 19 名、出席監事 1 名、欠席 6 名であることから、定足を満たしており、本理事会が有効に成立する旨を確認した。

理事長挨拶

冒頭、川島理事長より、挨拶が行われた。学会の今後の課題等の共有が行われた。

報告事項

1. 2026 年度春季大会について

川島理事長より、2026 年度春季大会について大東文化大学での開催を予定していることが述べられた。その上で、担当理事である鈴木隆理事より、配付資料に基づき、2026 年度春季大会の準備状況について、説明がなされた。

2. 2025 年度秋季大会準備進捗状況

オブザーバーの劉建輝会員より、配付資料に基づき、2025 年度秋季大会の準備進捗状況について、説明がなされた。大会実行委員会の構成として、劉建輝会員が委員長を務めるほか、楠綾子（非会員）（国際日本文化研究センター）、ノハラ・ジュン・ジュリア会員（京都産業大学）、高橋知子会員（京都大学）、Yunchen Tian（非会員）（京都大学）、横山雄大会員（同志社大学）が委員を務めることが紹介された。また、共通論題の内容についても説明さ

れた。

審議事項

1. 2025 年度秋季大会プログラム

大庭理事より、配付資料に基づき、2025 年度秋季大会プログラム案（共通論題を除く部分）について提案が行われた。なお、配付資料については、一部口頭での修正が行われた。審議の結果、一部ペンディングという形で、決定した段階で理事への連絡を行うことを前提として、満場異議なく承認された。

2. 入会者・休会者・退会者・会費優待者の承認、および再入会申請の際の会費滞納退会者の処理方法について

倉田理事より、配付資料に基づいて、入会申請 8 件、再入会申請 3 件、退会申請 4 件、会員優待申請 3 件があったことが報告された。特段の異議なく承認された。また、住所不明者や会費未納者についても注意喚起がなされた。

また、倉田理事より、配付資料に基づいて、再入会申請の際の会費滞納退会者の処理方法に関して、該当者について個別に審議が行われた。続いて、今後の会費滞納と退会の運用に関して、会則第 7 条の規定に基づき、未納 3 年目に入り次第、当該者について速やかに退会手続きを取る一方で、再入会時には紹介者不要とするとの提案がなされた。個別の事例、今後の運用ともに特段の異議なく承認された。

報告事項

3. 2025 度春季大会開催報告

加茂理事より、配付資料に基づき、2025 年度春季大会開催の状況と会計について報告された。また、阿古理事より、配付資料に基づき、檜山セミナー開催の状況と会計報告が行われた。

4. 70 周年企画について

川島理事長より、70 周年記念事業について、報告が行われた。

5. 『アジア研究』編集進捗状況

日下理事より、配付資料に基づき、『アジア研究』の編集委員および書評委員について審議がなされた。特段の異議なく承認された。続けて、第 71 巻第 3・4 号、第 72 巻第 1・2 号の進捗状況、投稿論文、特集企画、書評の状況について、報告された。特集企画について審議にかけられ、特段の異議なく承認された。

また、日下理事より、今回編集委員および書評委員を選出する際に会員名簿の情報が古くなっているために、既に会員ではなかったり、所属先が変わったりしている事態が相次ぎ、業務に支障をきたしたことが共有された。名簿のあり方について、総務担当理事において検討することとなった。加えて、J-STAGE 投稿審査システムが 2026 年 10 月からシステムを一新し、無償でサービスを提供する見込みであることが共有された。

6. 定例研究会について

杉浦理事が小嶋理事、助川理事による原稿を代読する形で、今年度の定例研究会は 2025 年 9 月 27 日（土）、12 月 13 日（土）、2026 年 3 月 21（土）に行うことが報告された。また、「応募者による報告+討論」という従来型の研究会に加え、他の様式による研究会企画についても随時募集する旨、9 月の報告者募集案内に記載したところ、意見が寄せられており、方策を検討していることが共有された。

7. ニュースレターについて

石塚理事より、配付資料に基づき、予定通り第 64 号の発行が順調に進んでいる旨が報告された。また、デジタル化などニュースレター発行のあり方について、12 月の理事会において審議することとなった。

関連して、倉田理事より、配付資料に基づき、ニュースレターと学会誌送付にかかる郵便料金改定と、それに伴う対応について報告がなされた。ニュースレターについては電子化に向けて検討を進める一方で、学会誌については最も経済的な送付方法を採用するという観点から、500g を超える場合には特約を利用し、500g を超えない場合には「学術刊行物」の枠組みを利用するという方策が提案された。特約を結ぶことを含め、特段の異議なく承認された。

8. そのほか

川島理事長から檜山セミナーの開催方法について次年度から調整が行われる可能性があるとの、決まり次第審議していく旨が報告された。

14:45 に川島理事長が閉会を宣言し、審議を終了した。

以上

令和7年9月20日

一般財団法人アジア政経学会 2025年度第5回理事会

議長（理事長）

川島 真



議事録署名人（監事）

中岡 まり

